

取扱説明書

アタッシュケース型・塗装ブース版／呼び径100mm、呼び径125mmフレキホース版

Mat-At

Mat-100

Mat-125



取扱説明書



袋：PP 主要部品：PLA

はじめにお読みください

- ①本製品はDIY製品です。基本の使い方はございますが、お客様の自己責任の元、お客様のご利用環境にあわせ、ひとつの部品として、工夫してお使いいただく製品です。
- ②本製品は、本製品と各自にて別途ご購入して頂く部材とを組み合わせる使用する製品です。

本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。ご使用前に、取扱説明書をよくお読みいただき、製品を正しく安全にお使いください。警告、安全上のご注意も必ずお読みください。取扱説明書は大切に保管してください。

※本製品は3Dプリンター製です。部品には凹凸、突起などがございます。取扱いにご注意ください。

警告

本製品を窓に取り付る際は、ワイヤーなどで脱落防止策をとってください。誤って落下させた場合、重症、死亡事故につながる恐れがあります。脱落防止策をとれない場合は、本製品をご使用いただけません。

安全上のご注意

	窓アタッチメントDIYが窓に固定されているか、それぞれの部品が固定されているか確認する。 落下により、けがをする恐れがあります。	下により、けがをする恐れがあります。
	部品は確実に取り付ける。 落下により、けがをする恐れがあります。	窓アタッチメントに手をついて体重をかけたり、寄りかかったりしない。 脱落により落下、転落し、けがをする恐れがあります。
	使用を終了した製品は放置せず撤去する。 落下により、けがをする恐れがあります。また、紫外線で部品が歪み、破損、劣化などして落	取り付け、お手入れの際は、ゴム手袋を使用する。 樹脂部品の凹凸や角などでけがをする恐れがあります。

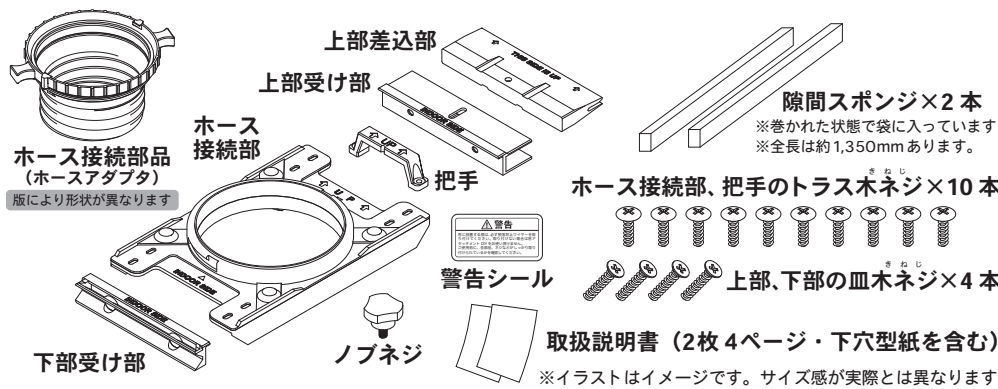
ご利用上のご注意

- 使用の際は脱落事故防止のために、脱落防止ワイヤーなどで必ず脱落防止策をとってください。
- 直射日光があたる等で高温になると製品が歪んだり、曲がったりする恐れがあります。
- 使用後は窓アタッチメントDIYを窓から取り外し、室内で保管してください。
- 24時間換気扇が設置されている場合、本製品使用後は24時間換気扇を稼働させてください。
- 窓を開ける通常の換気も適宜行ってください。
- 暴風、暴風雨、風の強い日などは、脱落する恐れがあるので使用しないでください。
- キッチンの換気扇を使用する際は「窓アタッチメントDIY」及び塗装ブースの使用を中止するか、吸気を確認してください。塗装ブースが逆流を起こす恐れがあります。
- 窓アタッチメントの取り付け、取り外しの都度、窓に固定されているか確認してください。
- 製品の改良のため予告なくデザイン、色を変更することがあります。

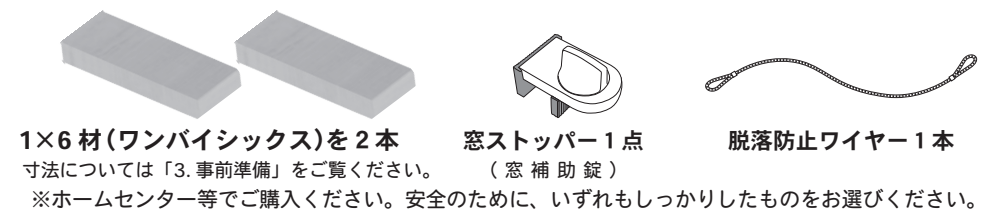
お手入れ

- 清掃は定期的に行って下さい。
市販のエアダスターでホコリを吹き飛ばしてください。水拭きする場合は、固く絞った雑巾で拭いてください。水洗いはしないでください。

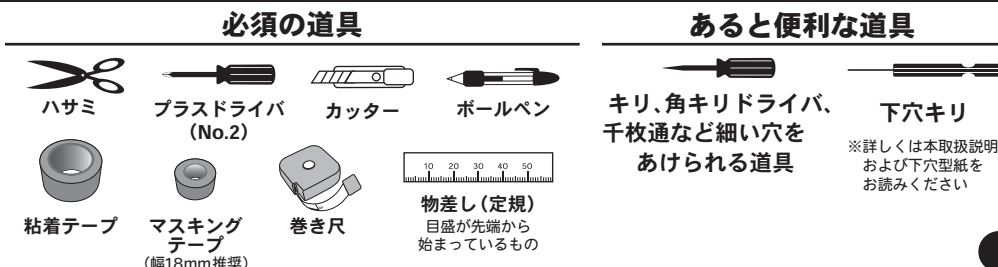
同梱品 すべて揃っているかご確認下さい



別途用意する物（別売品）各自でご用意ください



用意する道具（別売品）各自でご用意ください



2本の製品紹介動画（YouTube）をご覧ください



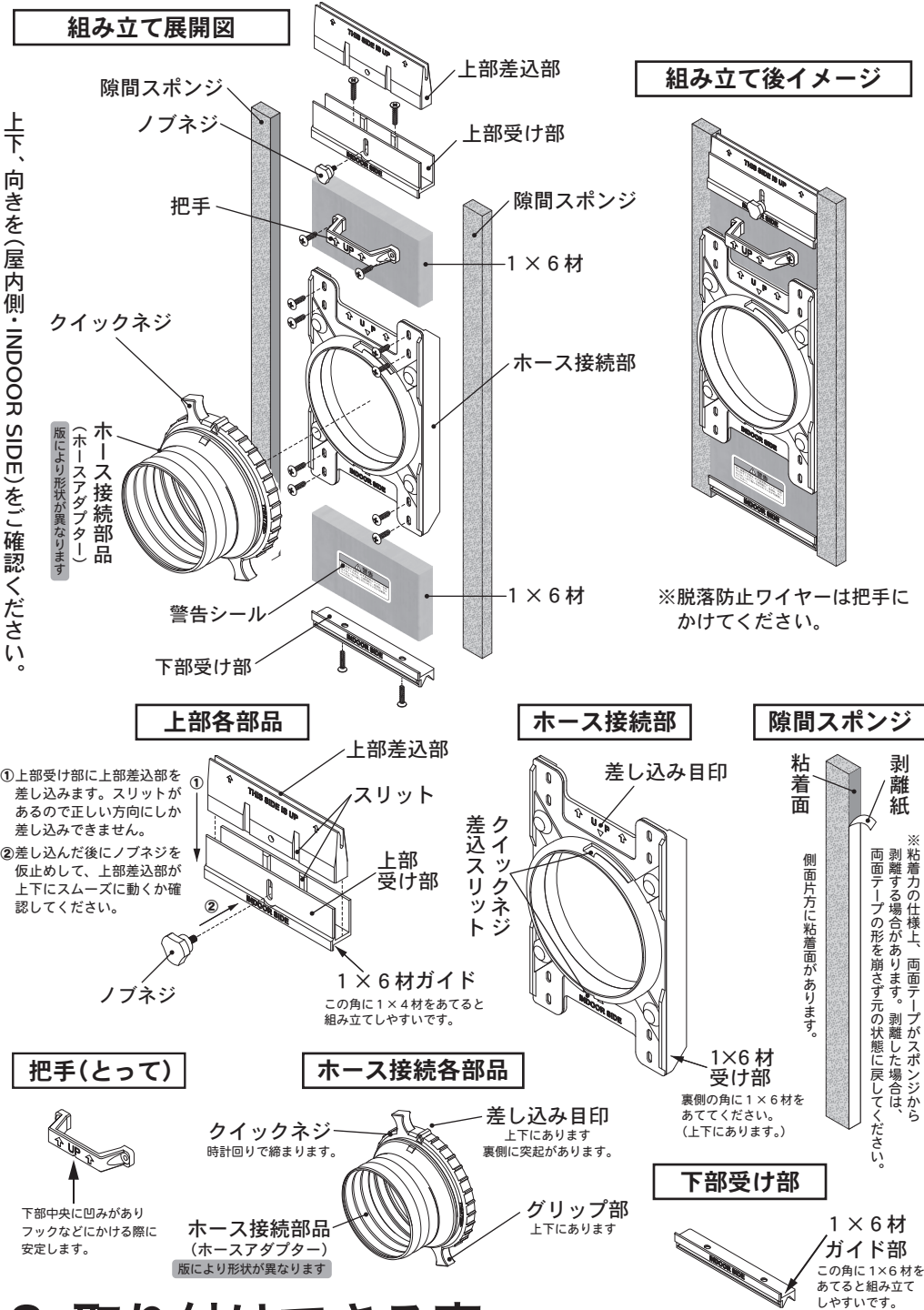
最初に左のQRコードの動画をご覧ください。

次に右の動画をご覧ください。



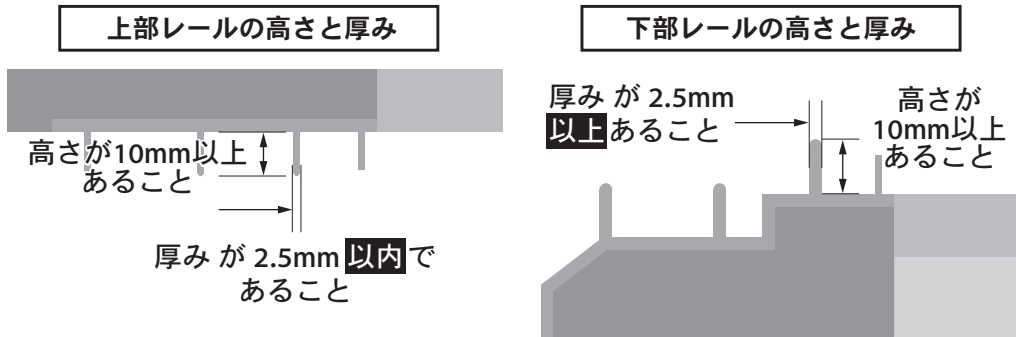
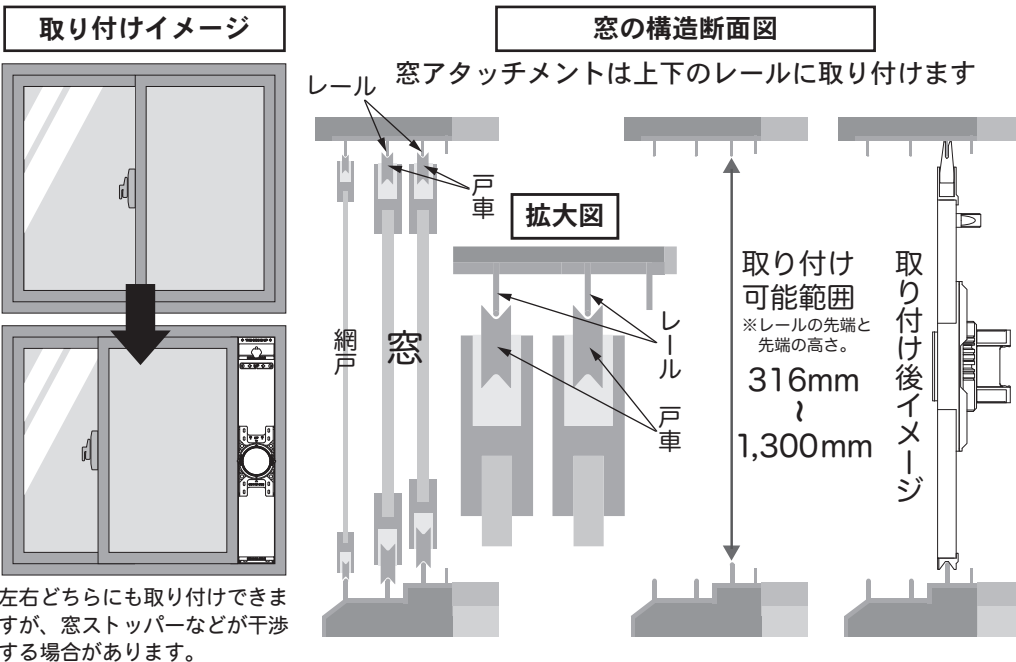
取扱説明書では説明しきれない要素を補う内容になっておりますので、ぜひご覧ください。

1. 組み立てイメージと各部名称



2. 取り付けできる窓

窓アタッチメントDIYは一般的な引き違い窓のレールに取り付けることができます。



※下部レールは上部レールより太いのが一般的です。

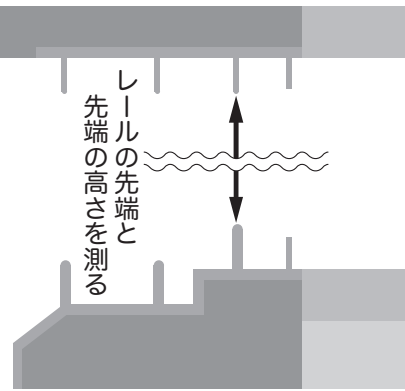
3. 事前準備

1 レール間の高さを測る

窓アタッチメント DIY はレールに取り付けます。右の断面図のように、取り付けられるレールの先端と先端との高さを測ってください。レール間の高さで1×6材の切り出し寸法を算出します。高さはできるだけ正確に測ってください。

2 高さを測ったら、ホース接続部の位置を決める

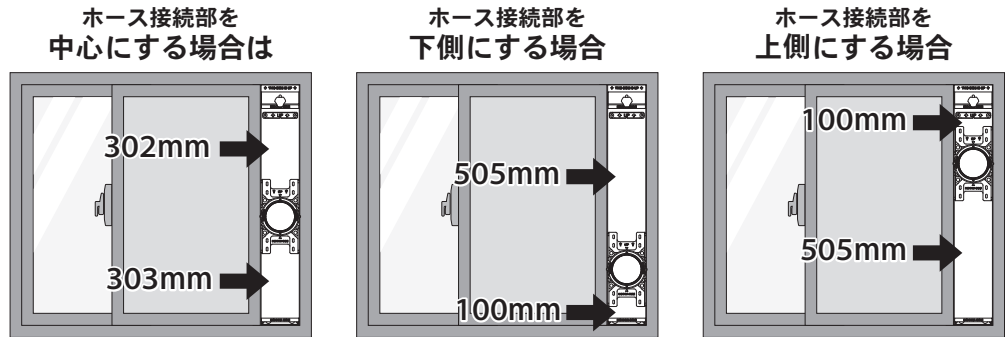
レール間の高さを測ったら、ホース接続部の位置を決めます。1×6材の寸法を変えることで、ホース接続部の位置を自由に決めることができます。



↓ 一例として、レール間の高さが800mmなら ↓
800mmから規定数値195mmを引きます。

800mm - 195mm = **605mm**

この605mmを基準にして1×6材の上下の寸法を決定します。



このように1×6材の寸法を変えることで、ホース接続部をお好みの位置にできます。

※割り切れない数字の場合は片方に寄せてください。
※1×6材の最長長は上下とも60ミリです。これ以上短くすることはできません。

3 決定した寸法の1×6材を購入する

1×6材（19mm×140mmの角材）はホームセンター等でご購入ください。
ホームセンターの木材カットのサービス（有償）のご利用をお勧めします。

カットサービスなら、ご希望のサイズにきれいに切り出すことができます。
※切り出しは1mm単位で、コンマ以下の指定はできないことがほとんどです。予めご承知おきください。

1×6材のカットについてのご注意

ご自身でカットする場合は、切り落とし分（切ることによって短くなる分）を考慮してください。
例えば、算出した寸法が605ミリだから、とりえず「**605ミリの1×6材**」を購入し、その後自宅でホース接続部を位置を決めるとした場合、切り落とし分が発生して寸足らずになります。

4 残りの「別途用意する物」を用意する

ホームセンター等でご購入ください。

4. 組み立てる

1 下穴型紙を切り出す

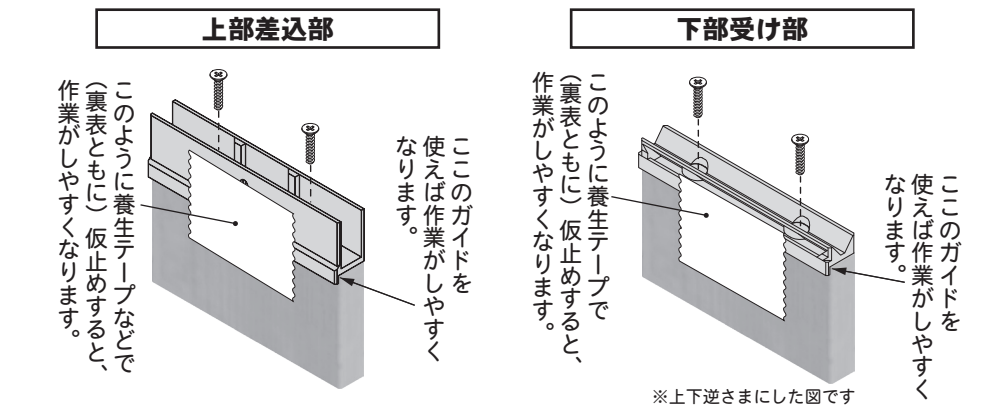
取扱説明書2枚目の下穴型紙を使って、1×6材に下穴をあけてください。詳しくは下穴型紙をご覧ください。
※型紙は公式ウェブサイトでもダウンロードできます。（www.ubeproduct.jp/madoatta）

2 上部差込部、下部受け部を1×6材に取り付ける

図のように皿の木ネジで固定してください。ズレのないように取り付けてください

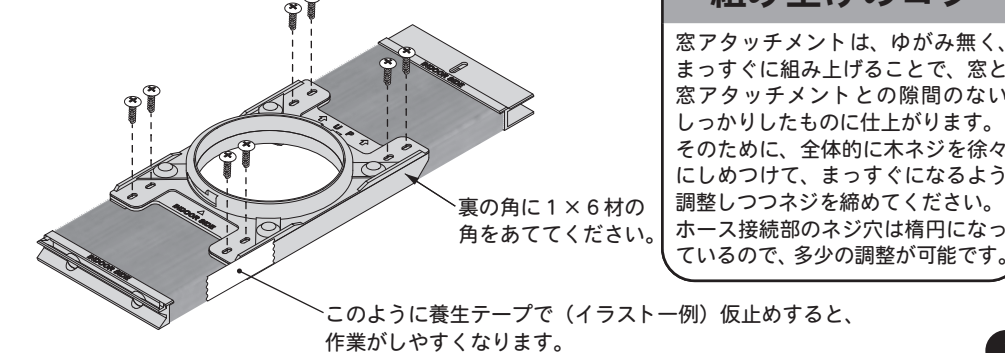
木ネジを打つ際のご注意

木ネジはズレて打ち込まれることが多いネジです。そのため、下穴キリなどで下穴を開けることをおすすめします。締め付けるときは、一箇所を一気に最後まで締め付けるのではなく、バランスよく徐々に、1×6材と部品の位置を確認しながら締めてください。



3 ホース接続部を1×6材に取り付ける

図のようにトラス木ネジで固定してください。

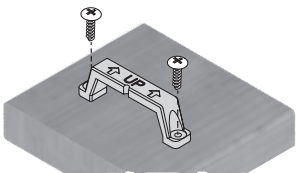


組み上げのコツ

窓アタッチメントは、ゆがみ無く、まっすぐに組み上げることで、窓と窓アタッチメントとの隙間のないしっかりしたものに仕上がります。そのために、全体的に木ネジを徐々にしめつけて、まっすぐになるよう調整しつつネジを締めてください。ホース接続部のネジ穴は楕円になっているので、多少の調整が可能です。

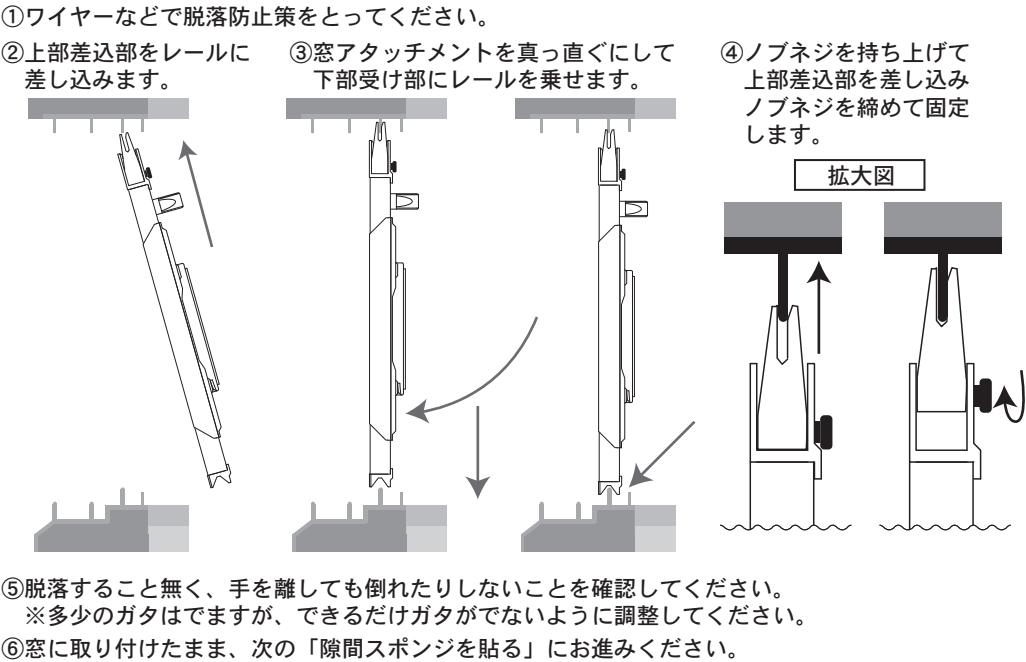
4 把手を取り付ける

把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止具として機能する位置に取り付けてください。



5 組み上がった窓アタッチメントを窓に取り付けて確認する

組み上がった窓アタッチメントを、窓に仮に取り付けて問題ないか確認します。下図の要領で窓に取り付けます。

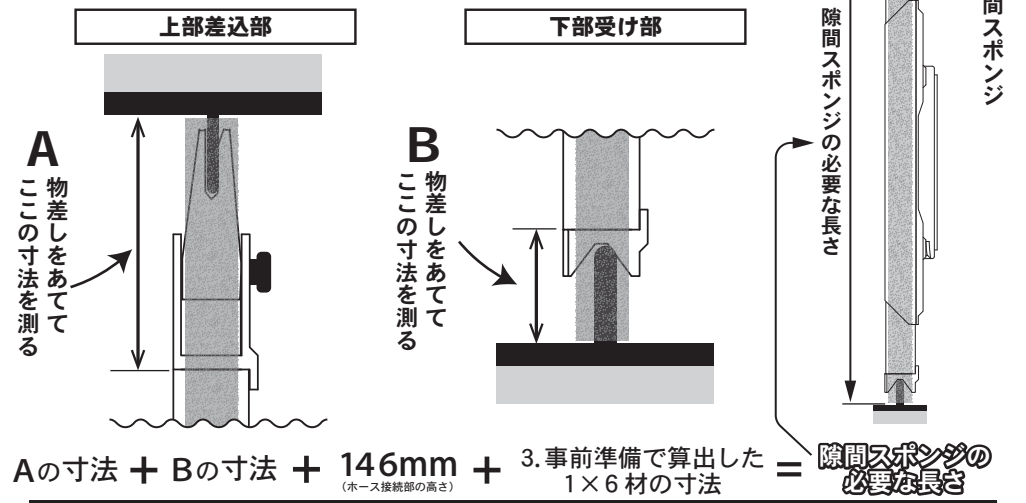


5. 隙間スポンジを貼る

窓に取り付けた窓アタッチメント（現物）をご覧ください。左右に隙間があります。この隙間を隙間スポンジを貼り付けることで埋めます。貼り付ける前に、以下の下準備を行ってください。

1 隙間スポンジの必要な長さを算出する。

右の図は、隙間スポンジの必要な長さを示しています。レールの根本から根本までであると隙間がしっかり埋まります。この長さは、下図のAとBの寸法を測り、下の計算式で算出できます。



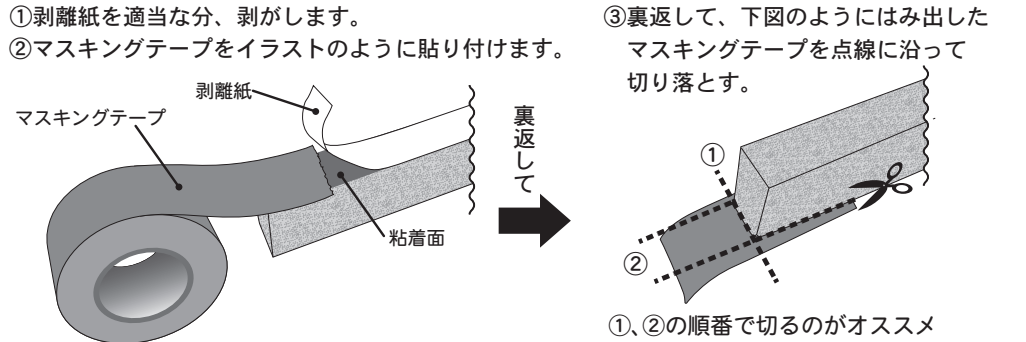
2 隙間スポンジを算出した必要な長さにカットする

隙間スポンジの必要は長さが算出できたら、隙間スポンジを算出した寸法にカットします。

ワンポイントアドバイス 隙間スポンジの切り方は、製品紹介動画をご覧ください。綺麗に切れる方法をご覧ください。

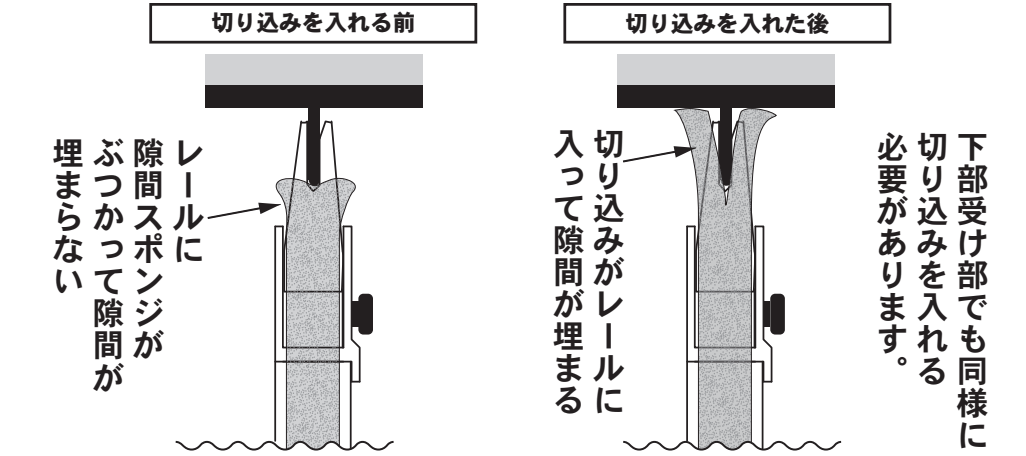
3 隙間スポンジの粘着部の一部を無効化する

上部差込部には稼働部があります。また下部受け部は隙間を埋めるために、隙間スポンジを少しだけはみ出させる必要があります。このため、隙間スポンジの上下の一部粘着部を無効化（くっつかなくする）必要があります。無効化する範囲は、先に測った、AとBの寸法になります。



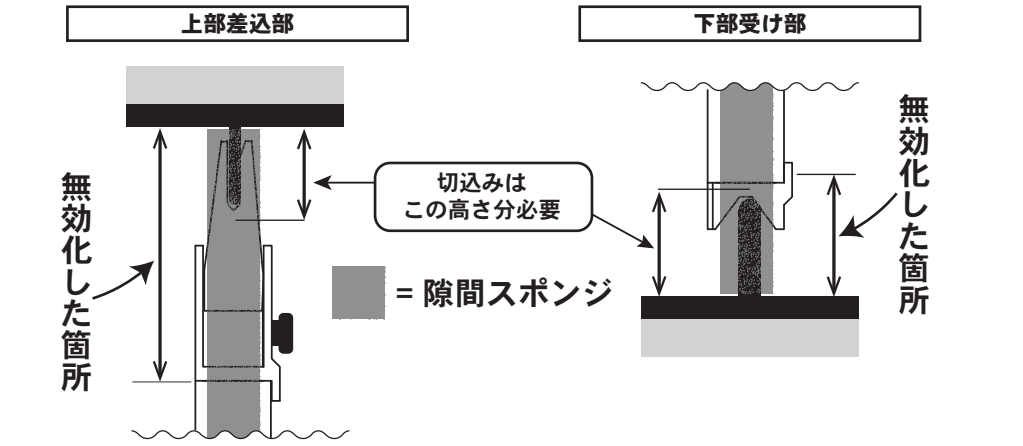
4 隙間スポンジには切り込みを入れる必要があります

下の図をご覧ください。レールに隙間スポンジが干渉してしまうのがおわかり頂けます。隙間スポンジに切り込みを入れることで、レールに差し込むことができるようになります。隙間が埋まります。



5 切り込みの高さを把握する

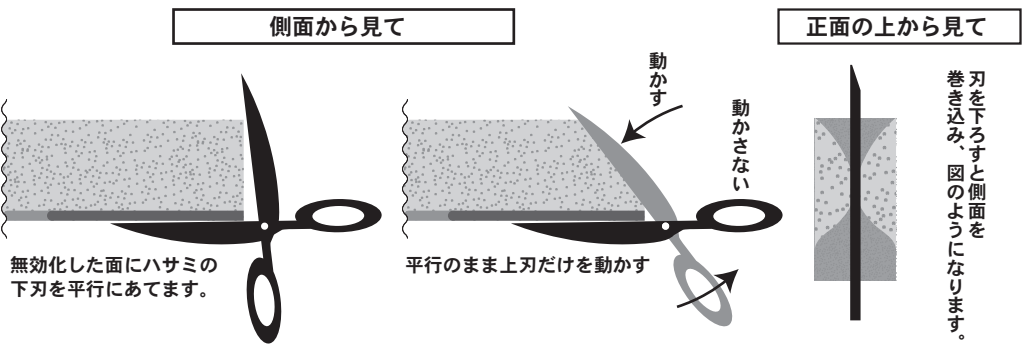
下図のように必要な切り込みの高さを把握してください。



6 ハサミで切り込みを入れる

切り込みの寸法を把握したら、ハサミで切り込みを入れます。

ワンポイントアドバイス 切り込みをまっすぐに入れることは難しいので、端材で練習してください。多少曲がっても問題ありません。任意の寸法に切るのも難しいので、おおよそで問題ありません。

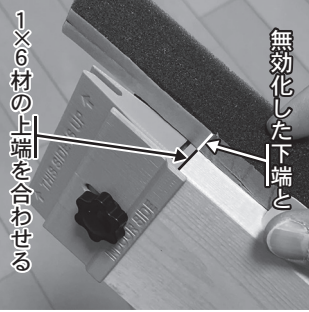


ウレタンを切断する手応えはありませんが、マスキングテープを切る手応えはあり、同時にウレタンも切断されます。ウレタンの切断面は多少波打ちますが問題ありません。

7 隙間スポンジを貼る。

下準備を終えた隙間スポンジを、窓アタッチメントの側面に貼り付けてください

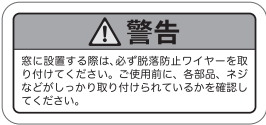
- ①隙間スポンジの無効化した範囲が大き方が上側になります。
- ②右の写真が隙間スポンジを貼り付ける基準になります。
- ③基準を元に窓アタッチメントと隙間スポンジの位置を確認します。基準に合わせれば隙間スポンジの長さ、無効化した位置などが上下とも適切な位置に合います。多少のズレなら問題ありませんが、全体を確認してから貼り付けてください。



- ①隙間スポンジの粘着面は貼り直しができません。軽くあてる程度で貼る位置を調整して、その状態で窓の取り付けを試みて位置の最終確認を行い、問題なければ本貼りしてください。
- ②隙間スポンジをひっぱりながら貼り付けると、ウレタンの収縮により剥がれる恐れがあります。

6. 警告シールを貼る

付属の「警告シール」を目に留まる任意の位置に貼付してください。



付属の警告シール



貼り付け一例

7. 窓アタッチメントを窓に取り付ける

1 脱落防止策をとる

別途用意したワイヤーを把手とカーテンレールなどに繋げて、脱落防止策をとってください

2 窓に窓アタッチメントを取り付ける

※イラスト、写真はタミヤ版ですが、取り付け方は同じです。

①4-5の要領で窓に取り付けますが上図のように窓枠から少し離れたところに取り付けます。

②手で隙間スポンジをレールに差し込み、隙間を埋めてます。
※説明のため左の隙間スポンジを外しています。左右とも差し込んでください

③下部も同様に左右とも隙間スポンジを差し込みます。

④窓アタッチメントを窓枠側に滑らせて隙間が埋まるように軽く押し当てます。この時、隙間スポンジがズレたりしないように気をつけてます。

⑤窓を閉じて、隙間が埋まるように軽く押し当てます。

⑥スポンジの反発力で窓が開こうとするので、窓ストッパーで固定します。以上で取り付け完成です。

3 問題がないか全体を確認する

窓アタッチメントにガタツキ、隙間がないかなど、全体を見渡して問題がないこと確認します。

裏面 4 ページに続きます →→→

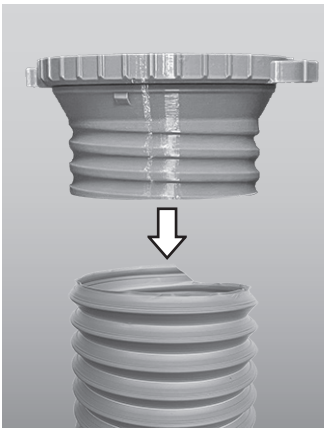
裏側に木ネジ下穴型紙があります

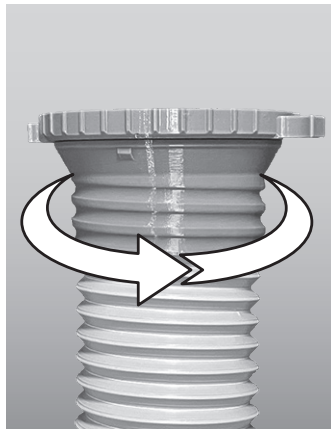
8. 塗装ブースを接続する

1 排気ホースとホース接続部品(ホースアダプタ)を接続する
アタッチケース型・塗装ブースのホースの接続方法



ここが先端





①ホースのジャバラを先端までしっかり伸ばす。

②ホース接続部品をホースをまっすぐ乗せます。ホース接続部品の内側にホースを入れるように接続します。

③ホースを上から見て反時計回りに、およそ2回転ほどねじ込みます。

呼び径 1 0 0 mm、1 2 5 mm フレキホースの接続方法

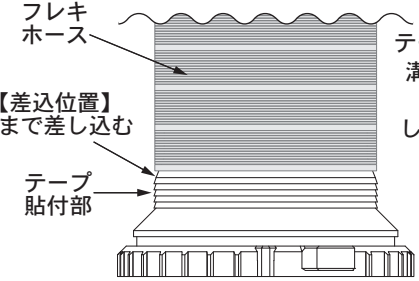
①フレキホースを差し込む

フレキホースを【差込位置】まで差し込みます。ホースが歪んだりしていると差し込みにくくなるのでご注意ください。

②粘着テープで固定する

粘着テープをフレキホースとテープ貼付部にまたがるように巻いて貼り付けます。テープは一周巻けば十分ですが、状況に応じて巻き数を変えてください。

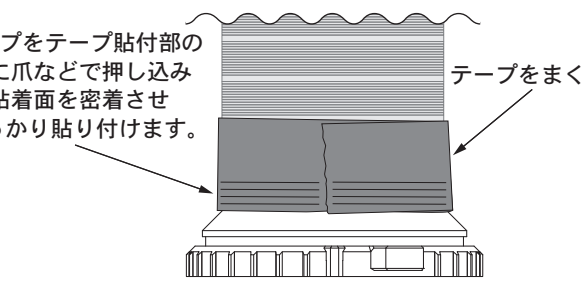
粘着テープは柔軟性のあるものをお使いください。養生テープやアルミテープなど柔軟性がないもので固定すると脱落する恐れがあります。推奨テープはニチバン「カラー布粘着テープ No.102N」です。



フレキホース

【差込位置】まで差し込む

テープ貼付部



テープをテープ貼付部の溝に爪などで押し込み粘着面を密着させしっかり貼り付けます。

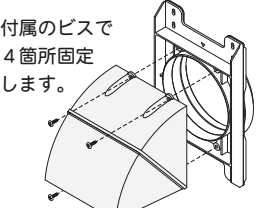
テープをまく

※イラストは 100mm 用です。125mm でも接続方法は同じです。

背面にはフード(別売)を取り付けることができます。

フードを取り付けると吹き出し風を下に向けることができます。取り付けは付属のビス4点で固定するだけです。詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

※フードは直射日光などで高熱になると破損、歪む恐れがあります。窓アタッチメント DIY 使用後は取り外して室内で保管してください。



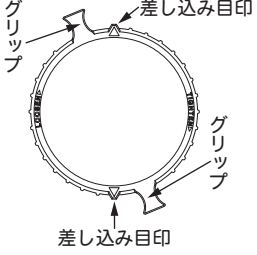
付属のビスで4箇所固定します。



2 ホースとホース接続部を接続する

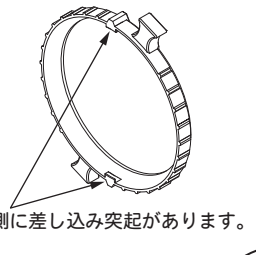
ホース接続部の接続目印と、クイックネジの差し込み目印を合わせて差し込み、根本まで差し込んだら、右に軽く回してください。右に回して止まったところで十分です。強く締める必要はありません。

クイックネジ正面図



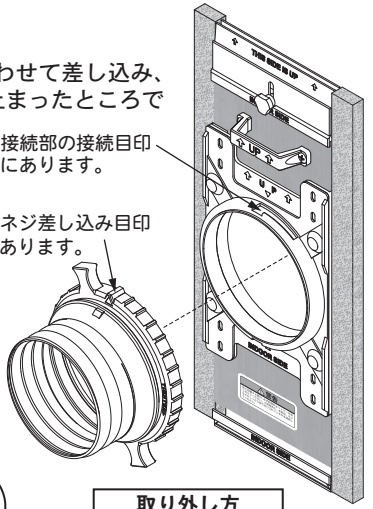
差し込み目印

クイックネジ裏側

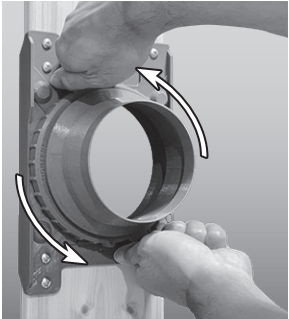


内側に差し込み突起があります。

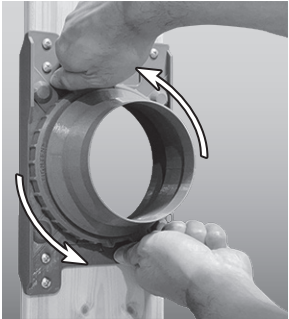
クイックネジ差し込み目印 ※上下にあります。



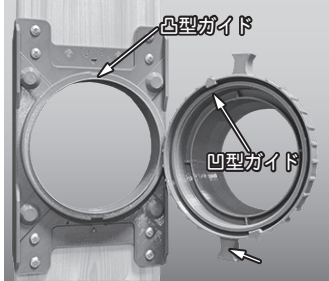
クイックネジのグリップを写真のように持ち、反時計回しします。



取り外し方



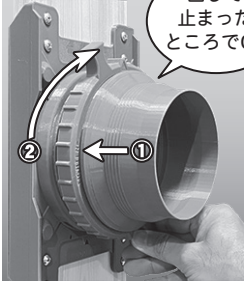
①ホース接続部とホースアダプタに接続ガイドがあることを確認します。凹凸ガイドでズレないようにしています。



凸型ガイド

凹型ガイド

②上下のグリップを持ち、目印にあわせてまっすぐ差し込み、クイックネジを時計回しします。



回して止まったところでOK

9. 吸気を確保し、塗装ブースの吸引を確認する

塗装ブースを稼働させる前に、他の部屋の給気口や窓を開けるなどして、必ず『吸気』を確保してください。塗装ブースの吸引が悪い場合は吸気が確保されているかを確認し、ホースの取り回し、隙間スポンジ、網戸などを確認してください。



ワンポイントアドバイス

塗装ブースの使用にあたり、吸気の確保は大切です。吸気が確保されていないと塗装ブースの性能をきちんと発揮できないこともあります。吸気について、右QRコードの動画内で説明しています。ぜひご覧ください。

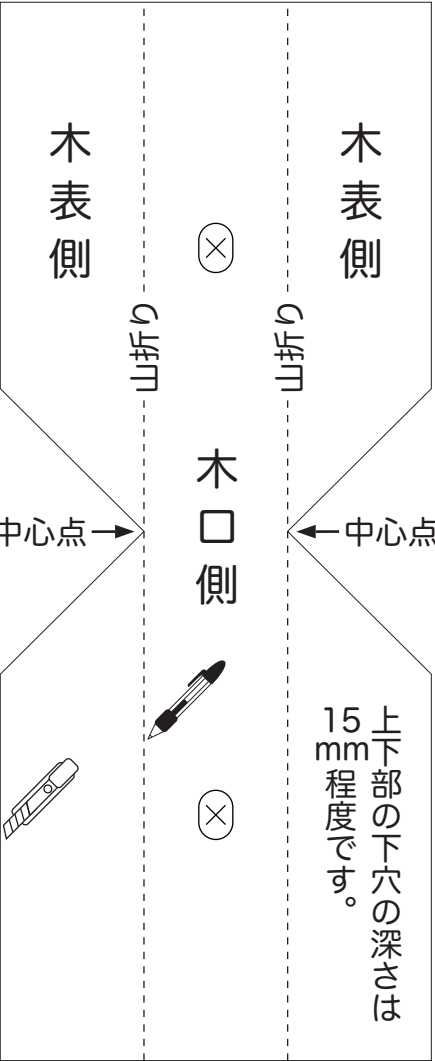
以上で窓アタッチメント DIY の取り付け完了です。お疲れ様でした!

木ネジ下穴型紙

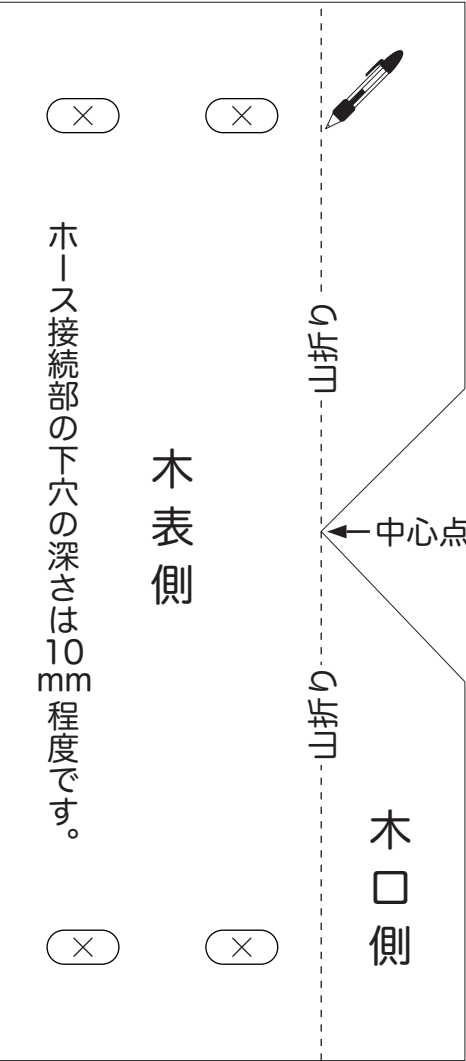
①型紙の切り出し方

- ①定規を使い、点線をボールペンでなぞってください。まっすぐな折り目がつき、きれいに折ることができます。
- ②定規を使い、実線をカッターで切りだしてください。
- ③切り出したら、ボールペンでつけた折り目を山折りします。

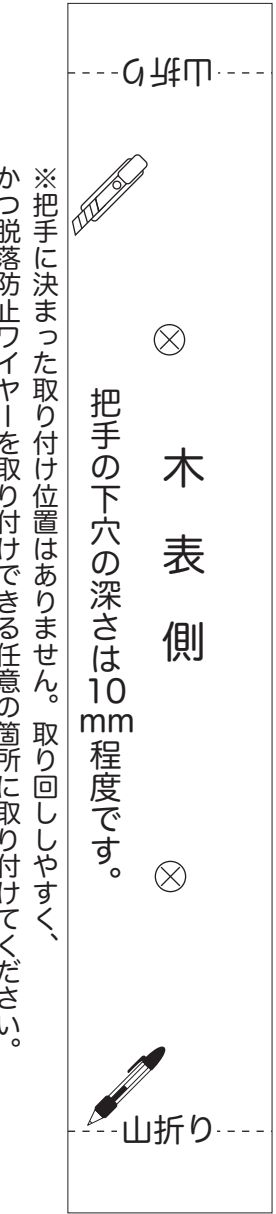
■上部差込部、下部受け部(共通)の下穴型紙



■ホース接続部(上下共通)の下穴型紙



■把手の下穴型紙



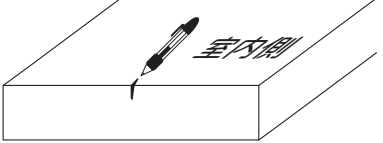
※把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止ワイヤーを取り付けできる任意の箇所に取り付けてください。

②型紙の使い方

①1×6材を定規で測り、中心に目印をつけます



上部差込部、下部受け部には裏表に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。

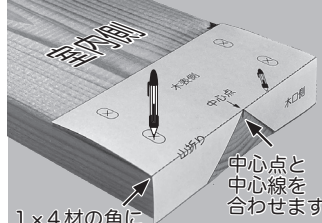


ホース接続部は室内側に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。

②型紙を下写真のように1×6材にあてて、バツ印⊗をボールペンで刺して印をつけるます。1×6材の角に、型紙の折り目をしっかりあてるのが正しい位置に印をつけるコツです

※写真は1×4材ですが、使い方は同じです。

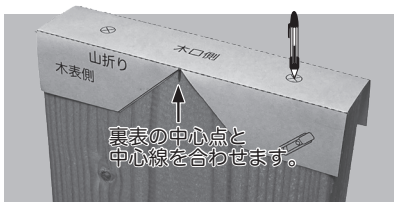
■ホース接続部の型紙の当て方



1×4材の角に型紙の折り目をあてて。

中心点と中心線を合わせます。

■上部差込部と下部受け部の型紙の当て方

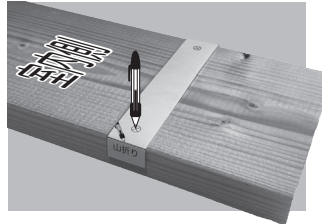


山折り

木口側

裏表の中心点と中心線を合わせます。

■把手の型紙の当て方



③ボールペンで印をつけた所に、下穴キリで適度な深さに下穴を開けます。下穴キリがない場合は、先の尖ったドライバークや千枚通しを刺して穴をあけるだけでも下穴の代わりになります。